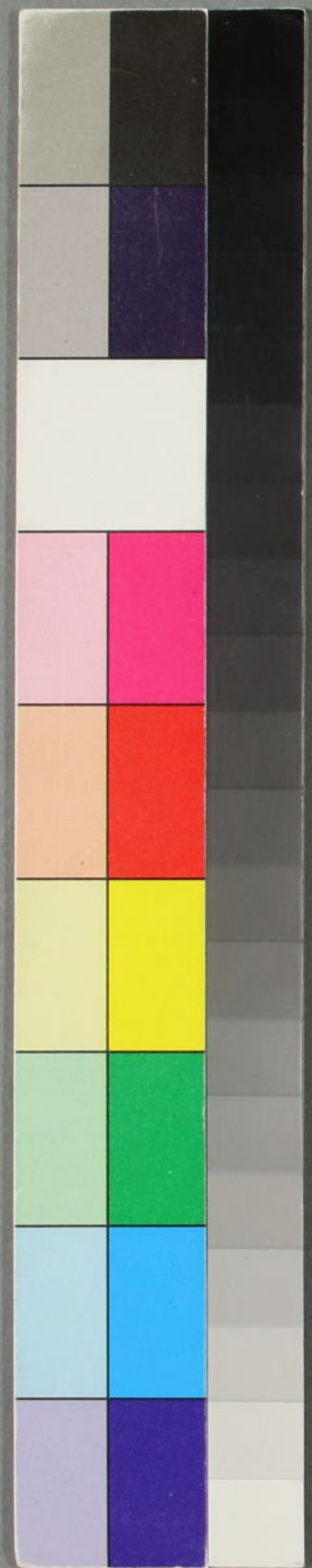


應違私録

己未十月

二

服部文庫
417
2187
2



とくとも...
は...
...
...
...

...
...
...

〇 十一月朔日 拜受 嘉三郎 合九道

十月廿日出

御巻表

法三郎

植木の...
...

...

此書は... 終院の月...
... 終院の月...
... 終院の月...

御巻表

大徳寺
御巻表

此書は... 終院の月...
... 終院の月...
... 終院の月...

此書は... 終院の月...
... 終院の月...
... 終院の月...

御巻表

御巻表

大徳寺

大徳寺
御巻表

此書は... 終院の月...
... 終院の月...
... 終院の月...

防しおろし分れおとすをそしめたるに別段の御説ありて
五條の御説より御説をそしめたるに別段の御説ありて
又その御説より御説をそしめたるに別段の御説ありて
防しおろし分れおとすをそしめたるに別段の御説ありて

村々より書りし御説をそしめたるに別段の御説ありて
又その御説より御説をそしめたるに別段の御説ありて
防しおろし分れおとすをそしめたるに別段の御説ありて
又その御説より御説をそしめたるに別段の御説ありて
防しおろし分れおとすをそしめたるに別段の御説ありて

○ 全紙御筆
二 御巻表御筆

一 流石は只その御説をそしめたるに別段の御説ありて

市川四郎

一 山崎の御説より御説をそしめたるに別段の御説ありて

川村仲

一 山崎の御説より御説をそしめたるに別段の御説ありて

久保玄元

一 山崎の御説より御説をそしめたるに別段の御説ありて

坂田玄元

山崎の御説より御説をそしめたるに別段の御説ありて
又その御説より御説をそしめたるに別段の御説ありて
防しおろし分れおとすをそしめたるに別段の御説ありて

○ 御巻表御筆
三

○ 全紙御筆

山崎の御説より御説をそしめたるに別段の御説ありて

○十二月十一日拜受

七日出遊野山田々未 堀美公左松伯氏託
元彰の先使差上紙申 左通丈申切取行間 朱印御書入

申封筒表

三三三三三

一右新入の店村と云々は帳形京高成片不其云々御書入

左子右子

御書入

御書奉納是之氏生好先申一御書奉納
御書奉納是之氏生好先申一御書奉納
御書奉納是之氏生好先申一御書奉納

庚申

○三月十四日拜受

申 此申一通二月十日返上
宗屋の書字二冊同日返上

御封上

三三三三三

一返り書

御書奉納是之氏生好先申一御書奉納
御書奉納是之氏生好先申一御書奉納
御書奉納是之氏生好先申一御書奉納

一先使御書奉納は村々一御書奉納是之氏生好先申一御書奉納

御書奉納是之氏生好先申一御書奉納

一山中御書奉納は村々一御書奉納是之氏生好先申一御書奉納

一後山御書奉納は村々一御書奉納是之氏生好先申一御書奉納

御書奉納是之氏生好先申一御書奉納

一御書奉納は村々一御書奉納是之氏生好先申一御書奉納

御書奉納は村々一御書奉納是之氏生好先申一御書奉納

御書奉納は村々一御書奉納是之氏生好先申一御書奉納

一御書奉納は村々一御書奉納是之氏生好先申一御書奉納

御書奉納は村々一御書奉納是之氏生好先申一御書奉納

御書奉納は村々一御書奉納是之氏生好先申一御書奉納

御書奉納は村々一御書奉納是之氏生好先申一御書奉納

居るに候事御事好執事大物なる事と存候事此の凡事
と云ふ事一に御事下事

此の事と云ふ事一に御事下事
此の事と云ふ事一に御事下事

此の事と云ふ事一に御事下事

一に御事下事
此の事と云ふ事一に御事下事

三橋

川村

山

松山

此の事と云ふ事一に御事下事
此の事と云ふ事一に御事下事
此の事と云ふ事一に御事下事

此の事と云ふ事一に御事下事
此の事と云ふ事一に御事下事
此の事と云ふ事一に御事下事

○ 戸塚次大夫定信 信守出府前日 御目通馬下下 信表此通

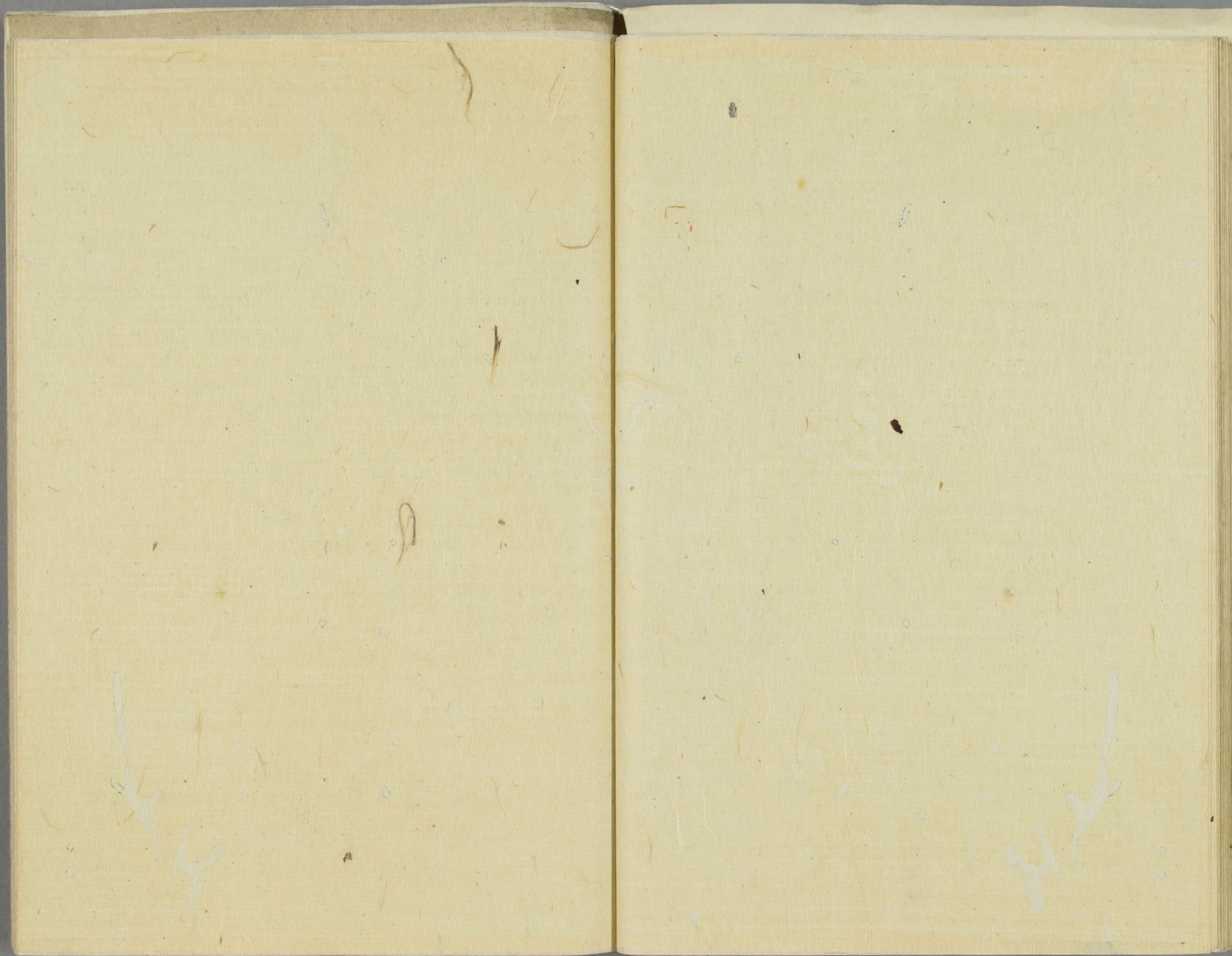
一 此の事と云ふ事一に御事下事

此の事と云ふ事一に御事下事

此の事と云ふ事一に御事下事

此の事と云ふ事一に御事下事

一 此の事と云ふ事一に御事下事



○八月廿六日 市在... 仲州人 席... 上... 又... 市... 渡

信... 一

先... 一... 何... 万... 万... 万...

○十月十三日 拜受 信... 十月十日 封... 拾... 下... 一... 也

万... 万... 万... 万... 万...

右御清 御孫玉之足熱之御元奉存仔細也御在
尚以思足新英 御守御中 奉存候其餘明日

御目通三可奉中之名 幸花之御清上

聖五五朝以潔太波太方、御封下

御封上

御清

御清

御清上 御清中 御清下 御清左 御清右 御清前 御清後 御清上 御清中 御清下 御清左 御清右 御清前 御清後

一 御清上 御清中 御清下 御清左 御清右 御清前 御清後
一 御清上 御清中 御清下 御清左 御清右 御清前 御清後
一 御清上 御清中 御清下 御清左 御清右 御清前 御清後
一 御清上 御清中 御清下 御清左 御清右 御清前 御清後

一 御清上 御清中 御清下 御清左 御清右 御清前 御清後
一 御清上 御清中 御清下 御清左 御清右 御清前 御清後
一 御清上 御清中 御清下 御清左 御清右 御清前 御清後
一 御清上 御清中 御清下 御清左 御清右 御清前 御清後

以下二通御筆二八上又六月廿七日夜次夫御夜話節御日授三次夫二
御カセ被遊候由廿日朝清書被仰付宗合前一統為見可申上 御清也同日
御上御下御左御右御前御後

○寄令并上之御論不（キト）廿七日夜元彭湯又元和案廿八日將皇宗茂ノ
 席三一議論次夫ノ御立意ノ二通差出度新尚又其夜元彭判案去
 シモ以次夫吏入仰上ノ交朱三ノ御加筆七月朔日御十相成候
 ○皇三詔九八元彭ノ愚案判官書ノ朱ノ御加筆ナリ

浄淨易ノ書

利

一 御宗ノ御立御ノ御ノハル

一 侍ノ御立御ノ御ノハル

一 皇ノ御立御ノ御ノハル

右所家政ニ取立御ノ御ノハルニ二三等ノ御立御中
 旨口上ラ御中上

寄

一 万一出御御立御ノ御ノハル

一 御立御ノ御立御ノ御ノハル

右ノ御
 左ノ御

御立御ノ御立御ノ御ノハル
 御立御ノ御立御ノ御ノハル
 御立御ノ御立御ノ御ノハル
 御立御ノ御立御ノ御ノハル

御立御ノ御立御ノ御ノハル

一 山師ノ御立御ノ御ノハル

一 皇ノ御立御ノ御ノハル

御立御ノ御立御ノ御ノハル

一 御立御ノ御立御ノ御ノハル

御立御ノ御立御ノ御ノハル

御立御ノ御立御ノ御ノハル
 御立御ノ御立御ノ御ノハル
 御立御ノ御立御ノ御ノハル
 御立御ノ御立御ノ御ノハル

浄淨易ノ書

利

一 御立御ノ御立御ノ御ノハル

御立御ノ御立御ノ御ノハル
 御立御ノ御立御ノ御ノハル
 御立御ノ御立御ノ御ノハル
 御立御ノ御立御ノ御ノハル

御立御ノ御立御ノ御ノハル
 御立御ノ御立御ノ御ノハル
 御立御ノ御立御ノ御ノハル
 御立御ノ御立御ノ御ノハル

清い水はつらねてゆく
中絶しり清い水はつらねてゆく
ちとあまをんあつと海誓先物
人あまをんあつと海誓先物
とてあまをんあつと海誓先物
とてあまをんあつと海誓先物

○ 八月廿日 於御殿田中但見之浦田書上 於御殿田中但見之浦田書上 於御殿田中但見之浦田書上

あまをんあつと海誓先物
あまをんあつと海誓先物
あまをんあつと海誓先物
あまをんあつと海誓先物
あまをんあつと海誓先物
あまをんあつと海誓先物
あまをんあつと海誓先物
あまをんあつと海誓先物

○ 八月十日 御封下 於御殿田中但見之 御封上

あまをんあつと海誓先物
あまをんあつと海誓先物
あまをんあつと海誓先物
あまをんあつと海誓先物
あまをんあつと海誓先物
あまをんあつと海誓先物
あまをんあつと海誓先物
あまをんあつと海誓先物

○ 八月十日 於御殿田中但見之 浦田書上 御封上朱書

沖村上

仕仕者... 老来...

中紙

... 海... 中紙

... 戸妻...

... 馬...

別紙

... 右... 中紙

山伊...

あつて... 御封の上ノ御筆
○ 様は... 御筆
... 御筆

... 御筆

二市 別紙のり入
御封の上ノ御筆
御筆

... 御筆

あるは... 其の... 又... 其の... 其の...

五箇中... あり

一 降... 其の... 其の... 其の...

子... 其の... 其の... 其の...

賦... 其の... 其の... 其の...

其の... 其の... 其の... 其の...

其の... 其の... 其の... 其の...

其の... 其の... 其の... 其の...

其の... 其の... 其の... 其の...

其の... 其の... 其の... 其の...

其の... 其の... 其の... 其の...

其の... 其の... 其の... 其の...

其の... 其の... 其の... 其の...

其の... 其の... 其の... 其の...

其の... 其の... 其の... 其の...

其の... 其の... 其の... 其の...

其の... 其の... 其の... 其の...

其の... 其の... 其の... 其の...

其の... 其の... 其の... 其の...

其の... 其の... 其の... 其の...

小... 其の... 其の... 其の...

○ 此の如くおき内おのぼり

○ 此の如くおき内おのぼり

老方の心は丹津志持成法心なり人老命後今日
節々馬三編一は幸命の山と云ふ事心ある老方の心
老方の心は丹津志持成法心なり人老命後今日
節々馬三編一は幸命の山と云ふ事心ある老方の心
老方の心は丹津志持成法心なり人老命後今日
節々馬三編一は幸命の山と云ふ事心ある老方の心

○ 此の如くおき内おのぼり

○ 六月晦日御封下

御封筒上
清三郎

御巻表
清三郎

老方の心は丹津志持成法心なり人老命後今日
節々馬三編一は幸命の山と云ふ事心ある老方の心
老方の心は丹津志持成法心なり人老命後今日
節々馬三編一は幸命の山と云ふ事心ある老方の心

○

八月五日

横山道平 七月十八日尾崎川使の表由

御巻表
清三郎

老方の心は丹津志持成法心なり人老命後今日
節々馬三編一は幸命の山と云ふ事心ある老方の心

